



地域資源としての 湯舟坂2号墳



2025.3

京都府立大学文学部歴史学科

目 次

刊行にあたって		i
例 言		ii
目 次		iii
第Ⅰ部 湯舟坂プロジェクトの軌跡		
湯舟坂プロジェクトの軌跡	諫早 直人	3
第Ⅱ部 湯舟坂2号墳を学術資源化する		
1. 湯舟坂2号墳と丹後地域の後期古墳	菱田 哲郎	19
2. [コラム] 古墳で見る川上谷、そして伯耆谷	奥 勇介	29
3. 「丹後王国」の系譜—湯舟坂2号墳の被葬者像をめぐる—	本庄 総子	33
4. 装飾付大刀からみた湯舟坂2号墳被葬者の性格	金 宇太	41
5. 湯舟坂2号墳出土鞍金具・大刀・銅鏡の科学分析		
	山口 繁生・初村 武寛	57
6. 湯舟坂2号墳出土鞍金具・鉄鏃の意義	土屋 隆史	69
7. 木棺からみた湯舟坂2号墳	守田 悠	87
8. [コラム] 湯舟坂2号墳出土貝装馬具の素材	黒住 耐二	93
9. [コラム] 湯舟坂2号墳出土貝装馬具、もう一つの海の道	諫早 直人	97
10. 湯舟坂2号墳の土器と被葬者像	稲本 悠一	99
11. [コラム] うつわの大変革—湯舟坂2号墳出土の土器が示すこと—		
	菱田 哲郎	111
12. [コラム] 須恵器もどきの土師器—湯舟坂2号墳からみた器の革新—		
	菱田 哲郎	113
13. 重量から考える湯舟坂2号墳出土須恵器の生産	溝口 泰久	115
14. [資料] 湯舟坂2号墳出土品の重量	諫早 直人・溝口 泰久	119
第Ⅲ部 湯舟坂2号墳を地域資源化する		
1. 古墳を地域資源化する—湯舟坂プロジェクトを通じて考えたこと—		
	諫早 直人	131
2. 地域の中の湯舟坂2号墳—湯舟坂2号墳の発掘調査がもたらしたもの—		
	新谷 勝行・奥 勇介	141

3. [コラム] 湯舟坂2号墳の発掘調査をふりかえる	奥村 清一郎	151
4. [コラム] 黄金の大刀の発掘とその後	新納 泉	155
5. [資料] 湯舟坂2号墳出土装飾付大刀の実測図	新納 泉	159
6. 開ける、調べる、閉める—黄金の大刀を遺し・伝える保存科学—		
	塚本 敏夫	163
7. 写真技術で挑む湯舟坂2号墳	栗山 雅夫	167
8. 海洋としての日本海から考える丹後の日本海文化	森島 康雄	183
9. 京都府立大学生による湯舟坂プロジェクトの取り組み	吉永 健人	197
10. [資料] 京都府立大学生による文化遺産活用の取り組み		
	京都府立大学文学部考古学研究室	203
11. [コラム] 大学が行う「湯舟坂プロジェクト」始動当初の取り組み		
	土井 悠起	217
12. [コラム] 細見、そして再検討—湯舟坂2号墳細見展から—	森島 康雄	219
13. [コラム] 「つなプロ」に見る多様な主体との地域連携のあり方		
	中西 俊介	221
14. [コラム] 湯舟坂 PROJECT の関わりの中で須田区の未来を考える		
	岸本 卓也	223
 第IV部 湯舟坂プロジェクトの周辺		
1. 丹後半島所在龍鳳文環頭大刀の調査		
—智恩寺所蔵単鳳環頭大刀と高山12号墳出土双龍環頭大刀—		
	諫早 直人・栗山 雅夫・初村 武寛・金 宇大	227
2. 智恩寺所蔵鏡の調査	馬淵 一輝	259
3. ソウル地域における文化遺産活用の実例—古代城郭遺跡を中心に—		
	尹 星鎬 (井上 直樹訳)	267
総 括	諫早 直人	281
執筆者一覧		285

表紙写真

- 上左 双龍環頭大刀調査風景（諫早直人撮影）
上中 第2回 ACTR 成果報告会風景（栗山雅夫撮影）
上右 「つなプロ」風景（諫早直人撮影）
下 湯舟坂2号墳出土双龍環頭大刀（栗山雅夫撮影）
裏表紙写真 湯舟坂2号墳全景（南西から。栗山雅夫撮影）



京都府立大学文化遺産叢書 第33集

地域資源としての湯舟坂2号墳

編集 諫早 直人（京都府立大学文学部准教授）
発行 京都府立大学文学部歴史学科
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
<https://kpu-his.jp/>
発行日 2025年3月6日
印刷 北斗プリント
〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
